

1月のコラムにて「診療報酬」と「介護報酬」の同時改定があり、その際「疾患別リハビリテーション料」の保険点数について掲載をしました。今月号のミニコラムでは、現行の診療報酬の「疾患別リハビリテーション料」の対象となる疾患について一部ですが、掲載します。

<疾患別リハ料の対象疾患>

脳血管疾患

- ① 脳梗塞、脳出血、くも膜下出血等の急性発症した脳血管疾患または手術後の患者
- ② 脳腫瘍、脊髄損傷等の急性発症した中枢神経疾患またはその手術後の患者
- ③ 神経疾患の患者 ④ 慢性の神経筋疾患の患者 ⑤ 失語症および失行症等の高次脳機能障害の患者
- ⑥ 手術などに伴う聴覚・言語機能の障害を有する患者 ⑦ 先天異常、手術等による構音障害を有する患者

運動器疾患

- ① 上・下肢の複合損傷、脊髄損傷による四肢麻痺その他の急性発症した運動器疾患またはその手術後の患者
- ② 関節の変性疾患、関節の炎症性疾患等の慢性運動器疾患により、運動機能およびADLの低下を来している患者

廃用症候群

- ① 急性疾患などに伴う安静(治療の有無は問わず)による廃用症候群の患者(一定以上の基本動作能力、応用動作能力、言語聴覚能力、ADLの低下を来している患者)

心大血管疾患

- ① 急性心筋梗塞、狭心症発作等の急性発症した心大血管疾患またはその手術後の患者
- ② 慢性心不全等の慢性心大血管疾患により、一定以上の呼吸循環機能の低下及びADLの低下を来している患者

呼吸器疾患

- ① 肺炎等の急性発症した呼吸器疾患の患者 ② 肺腫瘍、胸部外傷等の呼吸器疾患またはその手術後の患者
- ③ COPD、気管支喘息等の慢性の呼吸器疾患により、一定以上の重症の呼吸困難やADLの低下を来している患者
- ④ 食道癌、胃癌、肝臓癌、咽・喉頭癌の手術前後の呼吸機能訓練を要する患者

その他

- ① 脳血管、運動器、廃用症候群の対象患者については、車椅子上での姿勢保持が困難なためにADL能力の低下を来した患者に対し、シーティングとして評価を行った後、付属品の選定や調整を行った場合にも算定可能

詳細は「厚生労働省中央社会保険医療協議会」のホームページをご確認ください。

(https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/shingi-chuo_128154.html)

////////////////////////////////////
<東京都作業療法士会 ～災害発生時の安否確認システム～>

目的：災害発生時には、OT協会、都士会が共同して物的・人的な支援を行います

都士会では災害発生を想定し、会員の安否確認をする訓練を行っています

回数：年三回(9月1日、3月11日…三士会合同、2月ごろOT協会主催)

- ① ブロックごとの安否確認 ② 都士会 Fax ③ インターネット

東京都で災害が発生した際も安否確認を行い、必要に応じてリハ支援を行っていきます。

次回は9月1日になります。何卒ご理解・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。